

酒田・飽海大豆情報

第1号

令和3年5月13日

播種適期は5月20日～6月10日!

酒田農業技術普及課
TEL 22-6521
FAX 22-6522

排水の良い圃場(明渠の確実な設置)をつくり、適期内に播種して出芽苗立ちを十分に確保することから始めましょう。そして、開花期には写真のような姿にすることを念頭に、作業を進めてください。

去年は、生育期間を通して気温は高めに経過しましたが、大雨・日照不足の時期もあり、気象変動の激しい年でした。平均収量はほぼ平年並でしたが、安定した高収量を確保するためには、どのような気象条件の下でも“基本技術”を確実に実施しましょう。

① 排水対策

排水不良の圃場では、発芽率が低下し、根系の発達が抑制されます。特に初期の湿害は生育全体に大きく影響するので、明渠の設置などで生育前半にあたる梅雨時期に備えましょう。湿害を回避できれば、初期生育がとりやすくなり、中耕培土作業も適期に行うことができます。



圃場条件を整えて、基本技術を適期に実施すれば生育量が確保され、安定した高品質・高収量の確保が可能です。

② 土づくり

最適土壌 pH は 6.0～6.5 です。石灰資材を施用する場合、目安は炭カルで 120kg/10a、苦土石灰で 100～120kg/10a です。また、連作により地力の低下した圃場では堆肥や鶏糞などを散布して地力を補いましょう。

【基肥施用の目安】

- 有機物施用 : 完熟堆肥 1～2 トン/10a
または発酵鶏糞 75～100kg/10a
- 基肥施用 : 施用の目安は窒素成分 2.5kg/10a 程度
- 基肥施用例 : ①大豆一発S522 現物50kg/10a
②大豆化成684 現物40kg/10a
③高度化成14オール 現物20kg/10a

3 碎土率の確保と播種量の目安

表面の土塊が細かいと、除草剤の効きが良くなり出芽・初期生育の揃いが良くなります！

ゴロ土を無くするために、耕起は丁寧に行いましょう。種子が大きい大豆は出芽時に子葉が土塊を突き破らなければならないため、出芽時のストレスが大きい作物です。細かい土にすると播種作業がスムーズになるだけでなく、出芽、初期生育が揃います。また、除草剤の効きも良くなります。

◆除草剤をきちんと効かせて、初期の雑草を防除！

雑草の発生が見られた場合は早めの中耕培土を実施しましょう。

◆播種量・栽植本数の目安

条間：75 c m、株間：18～22 c m、2粒点播

種子量：リュウホウ・エンレイ 3.5～5.8kg/10a(12,000本～15,000本/10a)

里のほほえみ 4.3～5.1kg/10a(11,000～13,000本/10a)

4 病虫害対策

○紫斑病等対策種子消毒

薬剤名(防除時期)	対象病虫害	防除方法
キヒゲン (播種前)	紫斑病、タネバエ	乾燥種子重量の1%を粉衣する。
キヒゲン R-2 フロアブル(播種前)		乾燥種子 1kg 当り原液 20ml を塗沫処理する。

○ネキリムシ等対策

農薬名 (防除時期)	対象病虫害名	防除方法	使用上の注意事項等
クルーザーFS30 (播種前)	ネキリムシ類・タネバエ・アブラムシ類	乾燥種子 1kg 当り原液 6ml を塗沫処理する。	キヒゲンなど他の薬剤より先に処理する。
カルホス微粒剤F (播種時)	ネキリムシ類 タネバエ	6kg/10a	播種時に散布し土壌混和する。 劇物なので、特に取扱注意！
ネキリエースK (播種時～本葉2葉期まで)	ネキリムシ類	3kg/10a	土壌表面株元に処理する。 ネキリムシの活動する夕方に散布する。降雨が続くと効果が落ちる。

○ネキリムシ・紫斑病等対策種子消毒

農薬名 (防除時期)	対象病虫害名	防除方法
クルーザーMAXX (播種前)	茎疫病・紫斑病・苗立枯病(ピシウム菌)・黒根腐病・フタスジヒメハムシ・ネキリムシ類・タネバエ・アブラムシ類	乾燥種子 1kg 当り原液 8ml を塗沫処理する。



農作業事故(転落・転倒・巻き込み等)!

ゆとりを持った作業計画で事故ゼロを!

春季農作業事故防止強化期間(4月10日～6月10日)